

学歌 · 学生歌

学 歌

作詞 安水 稔和

作曲 中村 茂隆

さわやかに (♩ = 104)



一 萌える山並み 行く雲に

飛ぶ鳥を追う 駆けてくる

輝やく瞳 はずむ胸

まぶしい光に なにを放とう

ともに歌う 神戸 神戸

この丘のうえ 心あらたに

二 そよぐ葉叢はむれに 開く花

木洩れ日の中 輪になって

揺れる言の葉 遠い夢

流れる水に なにを映そう

ともに語る 神戸 神戸

この丘のうえ おもい激しく

三 風渡る街 光る海

はてしない空 手をあげる

溢れる願い 熱い明日

息づく世界に なにを告げよう

ともに生きる 神戸 神戸

この丘のうえ 愛あざやかに

学 生 歌

この丘陵に

神戸大学学生歌

作詞 小林 俊彦

行進曲風に堂々と

作曲 福本 寿朗

1. 2. 3. 4.
 この かの に わ れ ら ひ と つ し ん の ひ た も る
 の の お か に は が ゆ ら ら せ あ い わ シ ュ キ ー タ か カ
 コ ノ オ カ ニ ハ ヲ レ ラ ヲ オ シ ャ ナ ハ タ カ
 コ ノ オ カ ニ ハ ヲ レ ラ ヲ オ シ ャ ナ ハ タ カ

1. 2. 3. 4.
 し ゅ と ん ね の り と と じ り ひ の か マ リ び た や す い ま こ に
 ジ ョ ウ ネ ヲ ツ ト ヒ セ の ウ リ カ ヲ ノ リ メ デ テ キ ハ ヤ ミ シ ナ ク ツ シ
 ジ ョ ウ ネ ヲ ツ ト ヒ セ の ウ リ カ ヲ ノ リ メ デ テ キ ハ ヤ ミ シ ナ ク ツ シ

1. 2. 3. 4.
 わ と か き ひ 一 の の い の ち を か ウ け て ひ
 ト ワ オ ヲ ヲ ヲ シ ヲ ナ 二 は タ ア マ キ ヲ ウ セ サ ナ ゲ エ ク テ
 ト ワ オ ヲ ヲ ヲ シ ヲ ナ 二 は タ ア マ キ ヲ ウ セ サ ナ ゲ エ ク テ

1. 2. 3. 4.
 た し ぶ り 一 に お 一 か に も さ ん
 レ カ カ フ イ の ア ヒ キ ル を シ ョ ワ チ オ マ 一 カ ナ キ コ オ キ コ エ
 レ カ カ フ イ の ア ヒ キ ル を シ ョ ワ チ オ マ 一 カ ナ キ コ オ キ コ エ

- 一 この丘陵にわれら
ひとつの火まもる
真理と自治の篝火かがりび
- 絶やすなく いまここに
若き日の 生命をかけて
ひたぶるに 丘陵に燃やさん
- 二 この丘陵に流る
青春の宴うたげうた
情熱と理想をこめて
さわみなく 海のはてに
友よ調べ合せて歌え
愁いある 若きころを
- 三 この丘陵に映はゆる
淡き花影
人の世の独りの旅の
果てしなく 尽つきずとも
わが夢は また褪あせるなく
丘陵の日を巷ちまたに想おもう
- 四 この丘陵にわれら
久遠くわんの旗かかく
自由と正義のとりで
かがやける あしたのために
惜しみなく 今日をささげて
若き旗手ししほ 丘陵に消えず

追記

大学院生の方へ

この学生生活案内は、新入生用として作成していますが、学部生を中心に編集しています。

そのため「修学上の諸注意」については、学部学生のみを対象とした説明・掲載をしていますことをご了承ください。

学生の支援に関する基本方針

(平成 22 年 3 月 18 日学長裁定)

(目的)

第 1 この基本方針は、神戸大学学生の支援に関する規則（平成 16 年 4 月 1 日制定）第 1 条の規定に基づき定めるものであり、豊かな教養と高い専門性を有し、国際性、人間性に富んだ人材を養成するため、学生の修学、生活等に対する組織的、総合的な支援を推進するとともに、その改善を図ることを目的とする。

(基本方針)

第 2 神戸大学における学生の支援に関する基本方針は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 修学に関する相談体制等を整備し、学生が必要とする修学支援を行う。
- (2) 豊かな学生生活を送るための環境を整備し、学生が必要とする修学支援を行う。
- (3) 学生のキャリア形成及び就職に関する支援を行う。
- (4) 社会人学生及び外国人留学生に固有の事情に配慮した支援を行う。
- (5) 学生支援を充実させるため、保護者等との連携を強化する。

学生生活案内

令和 6 年 4 月 発行

編 集 神戸大学学生委員協議会

発 行 神 戸 大 学 学 務 部

〒657-8501 神戸市灘区鶴甲 1 丁目 2-1

Tel : 078-803-5227

